



2024.09.30

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2113

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

## 【メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！】

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

## 【山口県子ども読書支援センター行事】

### ★「幼児のためのおはなし会」

○日時：10月1日（火）11：00～11：20 ○会場：山口県立山口図書館 第2研修室

○対象：幼児 ○定員：10組程度

◎申込み・連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2113 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

### ★乳幼児期からの読書活動応援事業「親子ふれあい絵本レストランへようこそ」

○日時：11月2日（土）14：00～15：00 ○会場：山口県教育会館 1階 第5研修室

○講師：村中李衣子さん、横山眞佐子さん、山本安彦さん ○参加費：無料

○対象：4歳以上の幼児とその保護者（小学生までの兄弟姉妹も参加可）

○定員：60名（保護者含む） ○申し込み方法：10月25日（金）までに電子申請で ※申込みはこちら↑

◎問い合わせ先：山口県教育庁地域連携教育推進課（電話：083-933-4650 Eメール：a50400@pref.yamaguchi.lg.jp）



## 【新刊紹介】 価格は消費税抜き

### <絵本-乳幼児から>

『ぎゅうぎゅうリレー』 しまだともみ/作・絵 教育画劇 2024.7 ¥1050

あかちゃんたちのぎゅうぎゅうリレーがはじまるよ！さいしよはくまちゃん。とここはして、まんまるおしりのかばちゃんと、ぎゅう〜とハグしてバトンタッチ。かばちゃんはぽてぽてはして、くるりんしっぽのぶたちゃんとバトンタッチ。ぶたちゃんのつきにはしる、チクチクとげとげのこはだれ？ぎゅっとするたびに笑顔が繋がる、オノマトペいっぱいスキップ絵本。

### <絵本-3, 4歳から>

『きょうりゅうたちのあしもとで』 ツク之助/著 木村由莉/監修 誠文堂新光社 2024.7 ¥1400

シッポネズミの7ひきかぞくはげんきいっぱい。きょうはやまのぼりにでかけるよ。きのうえのすべりたいをすべったり、かわをわたったりしながら、みんなでやまのてっぺんをめざそう。恐竜の繁栄していた白亜紀後期を、実際に共存していたと考えられる小さな生き物の目線で描く絵本。監修者は国立科学博物館地学研究部の研究主幹。見返しに作中で登場した恐竜たちの紹介あり。

### <絵本-5, 6歳から>

『森のこびとコノリーとへんてこなとりドードー』 みむらはるこ/作 BL出版 2024.7 ¥1600

コノリーは木のねのあいだから生まれたこびと。ある日、森でみつけたたまごをばんごはんにするためもってかえるとちゅう、たまごがわれてへんてこなとりのひながでてきた。どこまでもついてくるひなを、ふとらせてたべるつもりで、すみかにおいてやることにしたコノリーだが…。絶滅した鳥ドードーをモデルにしたファンタジー絵本。作者は挿絵画家で、本書が絵本デビュー作。

### <絵本-小学校低学年から>

『こぶたのルーファスががっこうへいく』 キム・T. グリズウェル/ぶん バレリー・ゴルバチョフ/え くまがいじゅんこ/やく サイエントリスト社 2024.7 ¥1800

こぶたのルーファス・リロイ・ウィリアムズ3せいは、おきにいりのほんにかいてあるもじのよみかたをならうために、がっこうにいくとかんがえた。かばんをもってこうちょうしつまでたのみにいくが、「こぶたはがっこうにいられない」とことわられてしまう。それでもかよいたくてたまらないルーファスは…。ルーファスの姿を通して、学ぶことの純粋な楽しさにふれる絵本。

### <絵本-小学校中学年から>

『うつくしいってなに?』 最果タヒ/作 荒井良二/絵 小学館 2024.7 ¥1700

うつくしいってなんだろう。たとえばうみやそら。それをみているきみのひとみやほほ。たとえばきみのうしろからやってきて、めのまにすがたをあらわすよる。そのよるのひとみとしてまたたく、かぞえきれないほどのほしたち…。詩人の作者が紡ぐ「うつくしいとはなにか」という問いが、さまざまな色の混じった幻想的な絵と響き合い、豊かなイマジネーションを喚起する絵本。

### <絵本-中学生から>

『対馬丸とボーフィン』 池澤夏樹/文 黒田征太郎/絵 スイッチ・パブリッシング 2024.8 ¥1800

1944年8月22日、沖縄から本土を目指していた学童疎開船「対馬丸」は、アメリカの潜水艦「ボーフィン」の魚雷攻撃を受けて

沈没。犠牲となった子どもたちと共に悪石島近海に沈んでいる対馬丸。一方、アメリカ海軍の潜水艦の代表として戦果と共に、真珠湾に展示されているボーフィン。二隻の船の対話の形式をとり、「対馬丸事件」の悲劇と戦争の悲惨さを伝える絵本。

#### <読み物—小学校低学年から>

『しょうがっこうが、きらいです!』 山本悦子/作 佐藤真紀子/絵 あかね書房 2024.6 ¥1200

むねのなかがモヤモヤする小学1年生のマユ。学校に行きたくないことに気づき、パパに相談する。勉強は簡単すぎるし、自由がない。となりのぎんちゃんには消しゴムを折られてしまう。でも、嫌いなねぎを食べなくて済んだのはぎんちゃんのおかげで、しゃぼんだまを作る授業は楽しくて…。モヤモヤした気持ちを抱えながら毎日を過ごすマユに共感し、応援したくなる物語。

#### <読み物—小学校中学年から>

『おじいちゃんのおぼくの目』 パトリシア・マクラクラン/作 若林千鶴/訳 黒井健/絵 リーブル 2024.7 ¥1300

おじいちゃんの家が大好きなジョン。おじいちゃんは目がみえないけれど、おじいちゃんだけのやり方でみる。目を閉じると今まで聞こえなかった音がきこえてくる。朝ごはんや花のおいも感じる。おじいちゃんと一緒にチェロも演奏できる。大好きなおじいちゃんとの暮らしが温かく丁寧に描かれる物語。著者はアメリカの児童文学作家で家族愛をテーマにした作品を多く手がける。

#### <読み物—小学校高学年から>

『命をつないだ路面電車』 テア・ランノ/著 関口英子/訳 小学館 2024.7 ¥1500

1943年10月イタリアの首都、ローマのユダヤ人居住区において、突如ナチス・ドイツ軍により多くのユダヤ人が連行される。12歳のユダヤ人少年エマヌエーレは、連行される母により助けられ、路面電車に逃げ込む。見つからないように息をひそめながら…。ユダヤ人強制連行から生き延びた少年の実話を元にした物語。巻末にエマヌエーレや当時の家族、町並の写真の掲載あり。

『おとひめさまのうた』 いまむらきよみ ラヘル・ファン・コイ/さく てらいんく 2024.7 ¥1800

ウミトリクは、4つ違いの姉弟。父は各地の原子力研究所の発電所で働き、引っ越すたびにウミトリクは新しいバイオリンの先生に習う。地震と津波によりウミと会えなくなったトリクは12歳になり、オーストリアで開催される国際少年少女オーケストラの合宿に参加する。そこで難民の少女ナイーザと出会う。少女の幸せと尊厳を守るために周囲を巻き込みながら行動する少年の物語。

#### <読み物—中学生から>

『ヤングタイマーズのお悩み相談室』 石川宏千花/作 くもん出版 2024.7 ¥1500

中年俳優の皆吉薫生(みなよしたいせい)とミュージシャン八十色類(やそいろるい)がパーソナリティを務めるラジオ番組「放課後の放課後」。番組の中にはお悩み相談コーナーがあり、応募資格は「中学生」。皆吉フリークである中1の品川果淋は番組開始を知って悩み相談に応募しようとするが、悩みがないことに気づき…。6編の連作。何かに気づききっかけになる物語。

#### <ノンフィクション—小学校中学年から>

『ビーチサンダル号海へ!』 LR ロッディング D.パパー/文 M.M.ムワンギ/絵 千葉茂樹/訳 あすなろ書房 2024.8 ¥1700

アフリカのケニアに住む少年ジュマは、祖父と訪れた海岸でビーチサンダルや他のプラスチックゴミを拾い始める。拾ったゴミが役に立つきれいなものに生まれ変わるアイデアは島中に広がり、みんなが協力してゴミを集め始めた。プラスチックゴミは世界最初の再生プラスチック帆船ビーチサンダル号へと姿を変え外洋へ…。海洋汚染と向き合う少年を事実を元に描く絵本。

#### <ノンフィクション—小学校高学年から>

『むてっぽうな女性探検家ずかん』 クリスティーナ・ブホル・ブイガス/著 レーナ・オルテガ/絵 星野由美/訳 岩崎書店 2024.8 ¥2500

5,000キロ以上の道のりで聖書の地を巡り、世界で初めて旅行記を記したエゲリア。自転車で世界一周を成し遂げたアニー・ロンドンデリー。エベレストに登頂した初の女性、田部井順子(たべいじゅんこ)。むてっぽうで、がむしゃらで、強い意志と情熱で突き進んだ27人の女性探検家をイラストや手書きの地図などで楽しく紹介する。著者・イラストレーターはスペイン在住。

#### <ノンフィクション—中学生から>

『待ってる! 甲子園 青鳥特別支援学校ベースボール部の挑戦』 日比野恭三/著 ポプラ社 2024.6 ¥1800

第106回全国高校野球選手権大会は関東第一高校の初優勝に終わったが、東京都予選である西東京大会に、特別支援学校高等部が単独出場したことが、この夏話題になった。元高校球児の教師が、知的障がいはあるが野球が好きな高校生たちとともに、野球の楽しさと試合ができる喜びを追いかけたノン・フィクション。著者は、スポーツ雑誌『Number』の元執筆者。

#### <研究書>

『アクセシブルブックはじめのいっぽ 見る本、聞く本、触る本』 宮田和樹 馬場千枝 萬谷ひとみ/著 ポイジャー 2024.5 ¥2200

読書バリアフリー法の施行により、アクセシブルブックが注目されているが、そもそも、アクセシブルブックとは何か、読書バリアフリー法とはどのような法律なのか、十分に周知されているとは言い難い。本書では、障がい者への読書サービスについて多面的に取り上げ、一般に流通しているものから、公共図書館で利用できるものまで、様々なアクセシブルブックを紹介。

※【新刊紹介】の本は、県立図書館で現在受入準備中の本です。そのため、県立図書館の蔵書検索(OPAC)では検索できませんが、利用することは可能です。取書のための選書の参考として、閲覧、貸出等を希望される方は、お問い合わせください。

山口県立山口図書館では、電子図書館サービスを提供しています。利用案内はこちらから→  
<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp/dlibrary>

